

公務リストラで

# 国民生活が脅かされる 守ろう!国民の命とくらし



新潟県中越地震により崩壊した国道17号  
国土交通省北陸地方整備局道路部提供

## 国民生活の安全は守られる?

昨年は、相次ぐ台風の上陸や「新潟県中越地震」などにより多くの人命と財産が犠牲になりました。河川・道路などの公共施設も大きな被害を受け、国民生活に多大な影響を与えるなどあらためて安全な施設を作ることの大切さが明らかになりました。10年前の「阪神・淡路大震災」では、公共施設の手抜き工事が大きな問題になりました。手抜き工事を無くすには納税者の立場で専門的技術を持つ公務による監督・検査でしっかりチェックすることが大切ですが、今まさに、その監督・検査を民間にまかせようとしています。

いま、財政赤字を理由とした公務リストラの一環として「官から民へ」の流れが強められています。本来、国が責任をもって行うべきである分野での切り捨てが進められようとしています。国民生活の安全は守られるのでしょうか?

## 安全な公共施設で災害から守る

それでは、監督・検査を民間にまかせるとどうなるのでしょうか?

三菱自動車のリコール隠しや美浜原発の配管事故に代表されるように、利益優先で国民の安心と安全が脅かされることとなります。災害から国民の人命と財産を守るためには強固で安全な公共施設を作ることが不可欠であり、そのためには公務による監督・検査をしっかりと行う体制が必要です。

また、国が急傾斜地・崩壊危険箇所指定、防災対策が必要とされている箇所のわずか3%しか対策がとられておらず、緊急防災対策を強化する体制と予算の確保が求められています。



**国公労連**

日本国家公務員労働組合連合会

東京都港区西新橋1-17-14 リバティ14 3F  
TEL.03-3502-6363 www.kokko-net.org/